

社会福祉法人 友愛十字会

ゆう あい

2002

2・15

No. 23

題字 前総裁 三笠宮崇仁親王殿下



### 主な記事

- アナトリア考古学研究所② ..... 総裁 寛仁親王殿下
- 社会福祉施設における防災面から ..... 成城消防署長 貴貫徹  
みた危機管理について
- 自衛消防訓練審査会に出場して ..... 自衛消防隊長 山本健一

# —アナトリア考古学研究所②—



社会福祉法人 友愛十字会

総裁 寛仁親王

前号から続く。

その後、父を始めとするセンターの関係者は、真剣に募金活動を展開した様ですが成功せず、一昨年の十月、香淳皇后の御大葬の関連儀式のある日、父が私に、「いよいよ『金集め』のプロの御出馬を願いたい！」と語り掛けてきました。

看板を掛けて以来、気にはなつていた案件でしたから、仕方無く、十二月に私の仲間を招集しました。殆ど、福祉・スポーツ・音楽の関係で共に仕事をしてきた人々ですが、二人だけ部外者に参加してもらいました。お一人は、高名な文化人類学者の中根千枝女史（父と東大同期の桜で、私とも大変仲の良い文化勲章授章者）で、もう一方は、私が、訪土した時の、駐アンカラ日本大使だった遠山敦子女史（当時、西洋美術館館長で、現文部科学省大臣）でした。お二人を含めた全員が、私の説明の後、声を揃えて、「これ程の大事業は成功させるべし、是非やろう！」とおっしゃつて下さいました。そこで、昨年一月、平岩外四元経団連会長を組織委員会会長とする、「アナトリア考古学研究

所建設募金委員会」を発足させました。

六月には、趣意書が出来上がり、以来約七ヶ月の間、全国を巡回して、募金の方法論の為の事前説明会・講演会・チャリティーバザー・オークション・ゴルフ大会・音楽会等を各地で、精力的に実施し始めました。

昨今の我が国の状況の中では、我々福祉関係

者が、昔良く使つた手である、経団連・商工会議所等々への寄附依頼は、まず望めなくなっています。企業は、現在、十万円の寄附金も惜しまずになつてしまひましたし、バブルのはじけた以上、この状態は致し方の無い現実でもあります。従つて私の計画は、①考古学（特にアナトリア考古学）の啓蒙活動の周知徹底。②理解を深めて下さった人々の、ウォランティア・スター総裁の父が、『米寿』を迎える事になります。トルコ年の十二月二日には、財中近東文化センターの父が、『米寿』を迎える事になります。そこで、あと二年間、募金委員会は活動を続け、ピリットによる各種イヴェントの実施と、そこから上がる収益の確保。③趣意書を大量配布する事によって、募金委員会の会員になつて頂く事。以上三点に絞り、必死の説得工作を四十七都道府県に於て、展開する事になりました。

誠にラッキーであると思つたのは、ここ十年來の考古学ブームとも呼ぶべき我が国の現状で

す。長い間、極めてマイナーな学問であつた処の、「考古学」に対しても、皆さん本当に興味をもつて下さるのです。この事実の延長線上に、宮城県下で生じた、彼の有名な、「遺物捏造事件」もあつたのだと私は解釈しています。需要があるから、あの事件も起つべくして起つたのだと思います。

ともあれ、募金委の活動は、初年度としては、見事と言つて良い程、順調に進んでいます。

現在、四十七都道府県の内、二十八県を巡業し、様々な地域で既に、色々な募金獲得活動を実に多くの方々が、率先垂範して下さつています。

学生時代から、死にもの狂いで、作り続けて来た、全國に於ける私の人脈造りの成果は、こういつた案件の時、實に見事に回転してくれるものです。誠に有難い事と言わざるを得ません。二〇〇三年が、トルコ年に制定されています。従つて私の計画は、①考古学（特にアナトリア考古学）の啓蒙活動の周知徹底。②理解を深めて下さった人々の、ウォランティア・スター総裁の父が、『米寿』を迎える事になります。トルコ年の十二月二日には、財中近東文化センターの父が、『米寿』を迎える事になります。そこで、あと二年間、募金委員会は活動を続け、ピリットによる各種イヴェントの実施と、そこから上がる収益の確保。③趣意書を大量配布する事によって、募金委員会の会員になつて頂く事。以上三点に絞り、必死の説得工作を四十七都道府県に於て、展開する事になりました。

読者の皆様方にも、是非御支援御協力をお願ひ致します。



## 社会福祉施設における防災面からみた 危機管理について

成城消防署長 貴 貫 徹

- (一) 出入口に施錠している施設が多い。
- (二) 利用者が放火することもある。
- (三) 火災発生時に適切な判断ができない者がいる。

昨年、東京消防庁管内では社会福祉施設から十五件の火災が発生しており、そのうち約半数の八件が老人福祉施設からのものです。出火場所は宿泊室や休憩室などの居室がほとんどで、

幸いなことにぼやでおさまっています。火災の原因では、ライターの火が衣類や周囲の家具に燃え移つたり、たばこをごみ箱など不適当な場所に捨ててしまい出火した事例が多く見受けられます。

一方、救急出動件数も、平成十三年度は、六十万六千六百八十一件と毎年、急激な伸びをしております。救急車で搬送された人の約三割が六十五歳以上の高齢者であり、社会の高齢化とともに今後も増え続けると思われます。

一 社会福祉施設における実態危険  
消防法でいう社会福祉施設は、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、身体障害者福祉施設、重度身体障害者授産施設などの用途であり、これらの施設の利用者は自力避難が難しい



ため、一度、火災が発生すると大惨事になる危険性が潜在しています。また、二十四時間体制の防火管理が必要となる所もあり、特に夜間や

休日に勤務する人員は昼間に比べると少なく、有事の際その体制は必ずしも万全とは言えません。その他、社会福祉施設における危険性の大小は施設によって異なると思われますが、一般的に次の実態危険が挙げられます。

### 二 社会福祉施設における火災予防対策

自力で避難出来ない人が多数いるという特殊性を持つ施設であり、また都市における建築条件から居住や作業場が避難階（一階）だけにできいため、万一火災が発生した場合の早い通報、初期消火、避難経路の短縮、更には被害を最小限に食止めるという対策が必要となります。消防計画に基づく自主防火管理体制の確立を図るために別図に示すような具体的な予防対策が挙げられます。

一方、一定規模以上の社会福祉施設には、自動火災報知設備の作動と同時に所在、名称などが自動的に一一九番通報されるシステムの設置が義務付けられ、消防隊の早い到着を目指しています。また、人命安全を第一に出場する消防隊の任務をあらかじめ指定しておき、救助、消防活動がスムーズにできるような事前計画を立



てています。

更に東京消防庁では、防災上の支援を必要とする方たちの安全を守るため、地元の町会・自治会へ協力を呼びかける「ふれあいネットワーク」づくりを進めております。平成五年七月二十一日、友愛十字会は砧町町会と災害時の相互応援協定を結び、毎年合同で消防訓練を行い、安全と安心への実践力を高めています。

### 三 おわりに

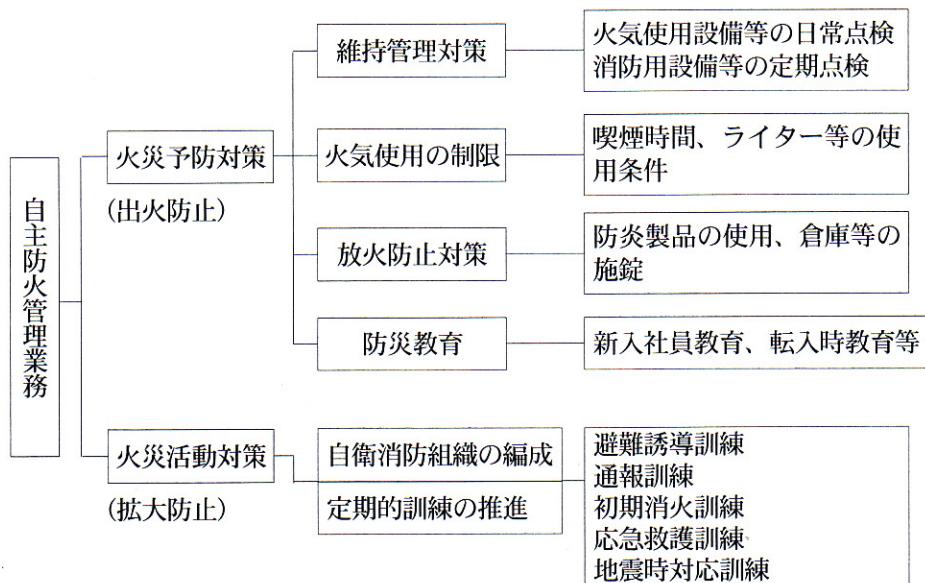
防火管理は、防火管理者や管理権原者だけができるものではありません。勤務者一人ひとりが、消防計画に基づく任務分担を着実に実行することによって、初めて実効性のあるものとなります。防火管理は、定められたことを完璧に

ます。  
今後も防火管理の重要性を十分認識して、防火管理が最も有効に機能するよう体制の整備に努力していただきたいと思います。

行っていれば火災は起らないという絶対的な保障はないため、難しい面もありますが、防火管理を徹底させねばせるほど火災危険は少なくなり、有事にも適切に対応できると確信しております。この点、友愛十字会の自衛消防隊は、昨年の成城消防署自衛消防訓練審査会において、日頃の訓練成果をいかんなく発揮され、みごと男子隊、女子隊ともに優勝されました。男女両隊が優勝することは、極めて稀です。

友愛十字会の日頃の防火管理に対する姿勢が強く感じられ、非常に心強く感じております。

別図 社会福祉施設における火災予防対策



自衛消防訓練審査会に出場して

友愛十字会世田谷施設自衛消防隊

隊長山本健一

今年度始めには、皆、「回れ右」もままならない状態でしたので、この『優勝』は自分達にも信じられないものでした。  
練習から今回の優勝まで、審査会に出場した隊員の感想を、以下のとおりご紹介します。

署管内の自衛消防訓練審査会に於いて、男子隊、女子隊が揃つて優勝しました。友愛十字会としてもこの優勝は初めてのことで、また、成城消防署管内でも、一つの事業所が男女隊ペアで優勝というのは今までになかつたことだそうです。

つ付き、動作や発声の細部にも点数をつけていきます。更に、屋内消火栓操作開始から火点に見立てた標的が倒れるまでの時間も競います。操作は指揮者、一番員で行い、扉を開放、起動ボタンを押し、三十m二本繋いだホースを抱えて走り、放水します。標準タイムは、男子隊が二十五秒、女子隊が三十秒です。勿論、規律動作や発声が欠けても、スピードが遅くとも、評価は低くなってしまいます。

審査会は、年に一回、九月に世田谷区総合運動場の噴水前広場で行われております。成城消防署管内の様々な事業所からそれぞれの自衛消防隊が参加し、技術を競うものです。今年は、十八事業所から二十四隊が参加し、日頃の訓練

十八事業所から二十四隊が参加し、日頃の訓練の成果を競いました。因みに、今回参加した他の事業所には、テレビスタジオや病院、清掃工場などがありました。

審査は、動作規律や発声、屋内消火栓の操作手順、スピードなど、それぞれの点数を総合して争われます。出場隊員は、男子隊、女子隊とも、隊長、指揮者、一番員、二番員の四名です。審査員である消防署員が、各隊員に一人づ



男子隊

指揮者 小笠原慎

一  
番員  
北沢  
良博

自衛消防とは、消防車等の救助隊が来る前の初期消火と、施設利用者の避難誘導等を職員が組織的に行うことであると考えます。今回、自衛消防隊の練習に参加して基本動作を学んだことで、一人では困難な消火や避難誘導も、隊を組み役割分担することで、的確かつ迅速に対応できることが理解できました。また、練習を重ねることで、次にすべき動作が自然にできるようになりました。

さらに、審査会に向けての練習を重ねる中でチームワークが良くなり、テキパキとした動作が自然に行えるようになりました。身体で覚えた揃つた動作が審査会で評価されたものと思います。

我々は、今回審査会に出場したことで自衛消防の必要性を理解することが出来ました。今回優勝を契機に、自衛消防隊はもちろん他の施

設職員・利用者にも防火に対する意識が高まれば幸いです。

活用していきたいと思います。

り幅の広い防災体制が作れればと思います。

### (女子隊)

指揮者 柿木 清美

一番員 渡部さおり

二番員 武田 啓子

当初、「敬礼」「回れ右」等の基本動作も満足にできなかつた私達が、男女隊ペア優勝という快挙を成し遂げるとは、想像も出来ませんでした。発表終了後も手が震えていた程の緊張感でしたので、男女共に表彰台の前に整列した時は、感激で胸が一杯になりました。

また、友愛ホームのお年寄りが、「制服や軍手のサイズがピッタリ合うように」と、裁縫してくれたり、挨拶と一緒に敬礼をしてくれるなど、様々な応援、ご協力を頂きましたので、親孝行が出来たような気分でした。

自主練習では、炎天下で滴る汗を拭いながら、また発表会間近には昼食時間や退社時間後に集まり動作や台詞を覚えたので、暫く身体から消防訓練が離れませんでした。ヴィディオで自分達の動作を確認するようになつてからは、細かい動作にも気を配るようになりました。

今回参加したこと、「やれば出来る」ことを改めて教わった気がします。また、自衛消防の必要性を理解する良い機会になりました。今後は、施設全体のためにも、この貴重な経験を

この後、世田谷、玉川、成城、目黒、渋谷の各消防署管内の審査会優勝隊が集まり技術を発表する、『第三方面自衛消防隊技術発表会』に出席しました。

この発表会も、審査会同様毎年行われているのですが、消防署毎に発表内容が異なるため、競技性や演技性の高い隊など様々でした。特に技術面では、通常一人で行う屋内消火栓の操作を一人で行つたり、火元に近づくためにホースを延長するなど、勉強になることも多々ありました。

さらに、平成十四年一月六日には、成城消防署の依頼により、有明で開催された『東京消防庁出初式』に、男子隊が参加いたしました。

しかしながら、これらは防災意識向上のためのキャンペーンに過ぎません。世田谷施設では、発表会に出場した自衛消防隊員だけではなく、各施設の副防火管理も屋内消火栓を活用できるように、また、避難誘導が徹底できるよう、毎月実施している防災訓練方法を変更したところです。



# 「楽しい思い出の宿泊訓練」

友愛デイサービスセンター

寮父 北 沢 良 博  
寮母 中 村 妙 恵

友愛デイサービスセンターは、重度の先天性障害の方と中途障害の方の通所施設です。

機能訓練やレクリエーション・クラフト等、二グループが一緒に、時には別々にテーマを掲げて活動しています。利用者も職員も様々な個性の持ち主で、とても賑やかな施設です。

今回は私達が毎年行っている「旅行」について少しお話したいと思います。

## \* 宿泊訓練とは?

友愛デイでは毎年「宿泊訓練」と題して一泊旅行を計画しております。名前に「訓練」とあるのは普段の生活とは違う環境でチャレンジしよう!との意味があります。住み慣れた環境でしか生活が出来ないので困ります。新しい環境にチャレンジする!「訓練」となるわけです。また、職員にとっても大切な訓練の場となります。重介護を必要とする利用者が多い分介護の応用練習となります。(この「応用」が介護の質の向上に繋がるわけです)

訓練と言つても堅苦しい雰囲気で旅行しているのではありません。利用者の皆さんが楽しい思

度は千葉のマザーマンションへ遊びに行きました。自然満喫の旅だけではありません。昨年は、都会の真ん中、青山を散策、ホテルでフランス料理に舌鼓。そして、今年度は再び自然に戻り、河口湖へ・・・。素晴らしい富士山を眺め、ロマンチックな「オルゴールの森」、それとは正反対の愉快な「猿回し劇場」を訪れました。このように毎年様々な旅行を計画しています。

## \* ヴオランティア

計画段階で一番問題になるのは介助者の確保です。(今回もそれが一番の難題でした) 実際にどの位の介助者が必要になってくるのか? 今年度を例に挙げると利用者十六名に対しても介助者は二十五名。せつかくの旅行ですからギスギ

## \* 旅行先

さて、このあたりでこれまで旅行先に選んだ場所を紹介しましょう。初めての宿泊訓練、平成五年は河口湖選び、富士サファリパークを訪れました。次は石和温泉にてぶどう狩りを楽しむと共に、山梨県社会福祉村に施設見学に行きました。次の年は、清里のリッチなホテルに宿泊、美術館・博物館を自由に観て回りました。平成八年度は、ディズニーランド、二日目にはお台場のゆりかもめに乗って自由行動、翌年は、青梅「日の出太陽の家」へ施設見学と交流会、横浜で陶芸やカレー作りに挑戦、十一年



スと慌てることなくのんびりゆつたりと活動したいと考えると、この位の人員を確保しなくてはなりません。しかし友愛ティイは介護職員が僅か6名、この時ばかりはセンター長や生活指導員も全員で介助に入ります。しかし、それでも人数が足りない！そこでヴォランティアが重要な存在になつてくるのです。ヴォランティアは、単に介助者の補充ということだけではなく、普段の利用者と職員との狭い関係やマンネリ化を脱することができます。それだけにはどうまらず、全体の輪がぐつと広がり、新鮮な風を吹きこんでくれます。

今回参加してくれたヴォランティアさんは熱心に旅行の何週間も前から利用者さんと仲良くなるため、介助を覚えるため、友愛ティイに足を運んでくれました。ヴォランティアの皆様の熱意には感謝の気持ちで一杯です。（友愛ティイにとってヴォランティアはとても大切な財産です）

#### \* 計画

重度身障の方にとって、出かける事の難しさ、まして泊まりの旅行となると実現するための綿密な計画が必要です。ヴォランティアの確保、また候補地や目的を決めて、そこからが第二のスタート地点となります。それは、どんなに楽しい企画でも、利用者が安心して生活で

きる場所・条件を揃えなければ成り立ちません。なんといつても友愛ティイの場合、常に車椅子が関わってきます。それに加え、みなさんの子が関わってきます。それに加え、みなさんのもつ障害の特徴によつて配慮する点が多いのです。その為に、写真撮影を細かく行いながらの下見、綿密な下調べ・手配が必要になつてくるのです。

まず、身障者用トイレ・洋式トイレ、エレベーター、休憩場所、再調理場所・・・これらは必須アイテムです。しかし、有無の確認だけでは情報が全く足りません。本当に活用できるものなのかを追求していきます。トイレひとつをとっても、箇所は？段差はあるのか？あるなら何センチか？・・・という具合に、次々に想像を働かせ、自分に問いかけるよう疑問をあげていきます。さらには、横になり休む必要のある利用者の為の、畳もしくはソファがあるのか、なければ代用できるものは何か？と利用者一人一人の顔を浮かべながら、問題点を明らかにしていきます。こうして、一つ一つの項目

#### \* 終わりに

今回で9回目の旅行となります。が旅行に行くと利用者さんの表情が変わるのがよくわかります。みんな生き生きとしたとつてもいい顔になります。みんな生き生きとしたとつてもいい顔になるのです。旅行とは、日頃の生活では味わうことが出来ない体験を思う存分に楽しむ事に尽きます。みんな生き生きとしたとつてもいい顔になるのではないでしょうか。美しい景色を見て、おいしいご飯を食べ、心をリフレッシュする。利用者の方が「また来年も行きたいね」と言つてくれる事が職員としても最高の喜びです。



く内扉・外扉の間で車椅子がドアにはさまれてしまつたり、また、スロープはあつても、角度が急で、利用者一人では、下ることができないことがあります。それに加え、みんなのが急で、利用者一人では、下ることができない対し、決まった条件の中で即座に対応するという経験は、楽しみとは別に、宿泊訓練の大きなかつた等があります。

このように、現実の社会で起こりうることに

# 善意のかずかず

次の方々から善意の金品のご寄贈を頂き、また、利用者をご慰問下さいました。ここに心から御礼を申し上げます。

(平成十三年四月一日～平成十三年十月三十一日まで)

メーションサービス代表取締役鈴木弘毅、力ナイ屋精肉店、河島サト、唐澤瑛風、キヌタ書道会菊地偉雄、砧教会学校、砧町会会長大島弘文、砧出張所小久保巖

(寄附金) 敬称略 あくお順

## ○世田谷関係

秋山隆子、新井電気工業所、安藤秀明、井上洋品店井上善雄、井山建設㈱代表取締役井山由三、石井アサ子、石川豊店石川光信、岩崎しのぶ、岩井信二郎、魚久、(有)工ス・ピー・ジー代表取締役池部慎子、圓光寺内藤壽昭、おしゃれ床やボヌール、小野坂豆腐店小野坂義弘、小野瀬裕滋、大藏自動車商事会代表取締長島英行、大藏住宅自治会長宮崎春代、大藏電気、大蔵東部町会、大蔵湯川口よしゑ、貝塚富江、家庭料理の店RYO、菓祥庵青柳、(株)ガードインフオ

谷区身体障害者福祉協会会長飛田

太、世田谷区ゲートボール協会会長有泉豊作、世田谷通り砧商店街振興組合代表理事柳田源三、全国建築物飲料水管理協会東京都支部長佐川弘、第一大蔵ストア一柳屋商店、高田照子、手塚久子、東都中央信用金庫世田谷支店支店長遠藤耕司、富沢キク、東京都身体障害者団体連合会会長兒玉明、内藤靖、砧町自治会、砧小学校宮裕、砧地区社会福祉協議会会长高橋重信、クリーニングカシマ、黒田美智子、株グローバルプロダクトプロデューサー、ラニング、小池きわ子、光寿会会長小池鎮男、(株)ゴトク濱中伸昭、自転車いしい石井林平、島崎丸正食品大藏病院前店、(株)丸山工務店代表取締役丸山政輝、諸橋伊工、やぶ久、山下英子、ヤマブン青果山川満、リビングストアータカハシ、和響太鼓木村忠敬

## ○友愛荘

## ○東京都聴覚障害者

生活支援センター

(寄附物品) 敬称略 あくお順

## ○世田谷関係

赤坂グレース、エヌアイパック、エイアイジー・スター生命健康保険組合、キリンビール㈱、東京都地建物取引業協会・東日本旅客鉄道(株)有楽町駅、日本たばこ産業㈱、若竹会

○ 東京都聴覚障害者  
生活支援センター

○ 友愛荘

○ 東京都聴覚障害者  
生活支援センター

友愛十字会主要行事

平成 13・4・1～13・10・31

坪木屋精肉店

○ 友愛荘

キリンビール(株)、東急百貨店、東

京都食肉生活衛生同業組合、樂農

会

(慰問) 敬称略あゝお順

○ 世田谷関係

○ 世田谷関係

IWA JAPANプロレス(株)

オニ(女子総合格闘技試合)、(株)

オフィス・イレブン(舞台「午後の

芸バラエティ(踊り・手品)、大蔵

ふたば保育園(歌・遊戯の披露)

ガールスカウト東京六一団(合唱・

ゲーム)、砧教会教会学校(歌・腹

話術)、砧幼稚園(歌・遊戯の披露)

と交流)、橘洋子(バナナのたた

き売り)、ひまわりの会(踊り・手

品)、ファイルハーモニー・カムマー

ンサンブル(クラシックミニコン

サーク)、若竹会(日本舞踊)

物江民夫(物江民夫リサイタル)

アコーディオン友の会(アコーディ

オン演奏)、桜美林幼稚園(花のプ

レゼント)、コロボックル(コカ

リナ演奏)、桜台保育園(歌と花

のプレゼント)、ボーカスカウト

町田第三団(竹楽器演奏)、みの

り幼稚園(踊り・ゲーム・手遊び)

京説亮巨人軍(野球試合)、(株)ボ

シヨイサーカス(サーカス公演)

民族歌舞団荒馬座(民族舞踊公演)

4・2～4・17 お花見(砧公

4・3 地域交流花見会(荘)

4・3～4 花見会(砧赤)

4・7 お花見会(コ)

4・8 自治会花見(小豆沢公

園)(聴)

ご助成御礼

4・22 料理教室(セントラ)  
(聴)

園(友赤)

4・11 お花見ハイキング(砧公  
園)(聴)

4・11 お花見ハイキング(砧公  
園)(聴)

4・22 料理教室(セントラ)  
(聴)

4・22 料理教室(セントラ)  
(聴)

4・22 料理教室(セントラ)  
(聴)



(お花見、砧テイ)

4 · 22	家族懇談会（莊）
4 · 27	第一一二回修了式（センターラ）（聴）
5 · 9	若葉昼食会（莊）
5 · 14、15、18	端午の節句（砧ホ）
5 · 16	バスハイク （葛西臨海公園）（砧ア）
5 · 17	砧公園ピクニック（砧公園）（友ホ）
5 · 18	防災訓練（センター）（聴）
5 · 19	社会見学（八景島シーパラダイス）（友テ）
5 · 20	料理教室（センター）（聴）
5 · 30	青空ランチ（ホーム屋上）（友ホ）
6 · 2	外出訓練（東京ドーム）（聴）
6 · 6	あじさい昼食会（莊）
6 · 9	東京都障害者スポーツ大会（駒沢競技場）（館・園・コ）
6 · 11	外出訓練（東京ビッグサイド）（聴）
6 · 13	生活講座（センター）（聴）
7 · 3	生活講座（センター）（聴）



7 · 4	七夕祭り（莊）
7 · 4 ~ 7	七夕会（世田谷美術館・センター内）（砧デ）
7 · 6	課外訓練旅行（池袋造幣局・サンシャイン国際水族館）（館・園）（聴）
7 · 6	ふれあい交流会（友テ）
7 · 25	盆踊り大会（世田谷地区）（聴）
7 · 28	地域交流盆踊大会（センターラ）（聴）
6 · 13 ~ 14	（七夕会「慰問演芸」、砧テ）
6 · 18 ~ 20	一泊旅行（河口湖畔）（友ホ）
6 · 20	百歳祝賀会（砧ホ）
8 · 4	保護者会（館・園）
8 · 5	「こへぼ十周年の集い」（コ）
8 · 9	盆法要（友ホ・砧ホ）
8 · 13 ~ 15	映写会（センター内）（砧内）（砧ア）
8 · 15	ハイキング（若洲海浜公園）（聴）
9 · 20	秋季彼岸法要（友ホ・砧ホ）
9 · 24	敬老祝賀会（砧水）
9 · 24	家族懇談会（砧ホ）
9 · 26	敬老会（友ホ）
9 · 11 ~ 13	区障害者スポーツ大会（小豆沢グランド）（聴）



9・26 秋季彼岸法要（莊）  
第一二三回修了式（セン  
ター）（聴）  
合同運動会（世田谷区立  
総合運動場体育館）（世  
田谷地区）  
10・26 総合防災訓練（セン  
タ一）（聴）  
宿泊訓練（千葉県鴨川）  
（聴）

10・26  
タ一）（聴）

## 職員異動

平成13・4・2～13・11・1

○友愛デイサービスセンター

採用 介助員 串田陽子  
指導員 望月正滋 13・9・1  
10・27 ルクホール（聴）

介助員より職種変更  
介護職員 中村妙恵  
指導員 西澤三枝 13・10・1  
13・9・31 介護職員 中村浩巳  
13・8・31 介護職員 中村浩巳  
30 31

退職 指導員 西澤三枝  
13・9・31 退職 指導員 西澤三枝  
30 31 退職 指導員 西澤三枝  
30 31

紅葉昼食会（莊）  
友愛ふれあい祭り（世田  
谷地区）

（注）館園（莊）  
（世田谷更生館）  
(友愛園)

○友愛莊  
採用 副主任看護職員  
長谷川昭子 13・13  
13・7・1 看護職員 河井富子  
13・7・1 主任看護職員  
佐井たき子 13・9・1  
13・7・1 看護職員 友村ひろえ  
13・6・6 山口千恵  
30 30

退職 主任看護職員  
平川順子 13・7・1  
13・7・1 看護職員 友村ひろえ  
13・6・6 山口千恵  
30 30

（コ一ホ友愛）  
(友愛ホーム)  
（コ一ホ友愛）  
(友愛莊)  
(砧ホーム)  
(砧デイサービスセ  
ンター）

コ  
友亦  
莊  
砧亦  
砧デ  
（コ一ホ友愛）  
(友愛ホーム)  
（コ一ホ友愛）  
(友愛莊)  
(砧ホーム)  
(砧デイサービスセ  
ンター）



（合同運動会）

○砧デイサービスセンター  
退職 理学療法士  
松井美津枝 13・5・31

## 編集後記

寒い時期になると、火気を使用する機会が増えてきます。同時に火災の発生も多くなるのも事実のようです。身体障害者・高齢者の利用施設である当法人にとっては、火災予防に万全を期すことは勿論ですが、万が一火災が発生した場合の活動体制の整備、消火・避難等の反復訓練が重要になってしまいます。

今回は、これらのことについて、ご多忙のなか成城消防署長のご寄稿をいただきました。ここに厚く御礼を申し上げます。

### ゆうあい 第二十三号

平成十四年二月十五日発行

発行 社会福祉法人 友愛十字会  
発行人 石井晃  
元 157-8575 東京都世田谷区砧  
清水良平 三丁目九番十一号  
電話 (03) 三四一六一三二六一